

射撃部

秋季近畿高校ライフル射撃競技大会予選大会が、10月1日(土)・2日(日)に県立明石西高校で開催されました。

チームライフルの部では、4位に阪本捷仁(2年尼崎市立塚口中)、10位に川端基(1年芦屋市立潮見中)が入賞しました。

またチームピストルの部で、5位に藤藤本淳志(2年西宮市立甲陵中)が入賞し、以上3名の入賞者は、11月20日(日)に和歌山県の射撃場で行われる近畿大会に出場することになりました。

【その他の記録】チームライフルの部、落合琉弥14位(2年神戸市立布引中)、好井祐貴18位(1年西宮市立瓦木中)、大園拓弥29位(1年神戸市立平野中)、チームピストルの部、阪本捷仁8位、濱田智朗8位(1年神戸市

立住吉中)、好井祐貴10位。

射撃部は、この夏休みの運動部に負けないくらいに練習をこなしまくった。挨拶をはじめとする立ち振る舞いも、素晴らしいものになってきています。

第六十五回 体育大会

秋雨前線が活発で、予定されていた準備の9月29日(木)、本番の30日(金)ともに雨が心配されました。ここ数年の本校の行事は、雨の天気予報を覆す強い運気で、予定通り実施することができています。

昨年度の体育大会には、観戦くださる保護者数も激増し、内容も好評でした。それ以上のものを作り上げようと、生徒も教職員も、大いに張り切って取り組みました。



入場行進は、各学年の同クラスが同時に入場する隊形で進み、その先頭の手には各クラスで作った応援旗が掲げられました。



プラスバンド部の窪田弘悠(3年神戸市立飛松中)の作曲のファンファーレで開始されました。



総合優勝は、さすが1年トップアスリートでした。

プログラムの最初は、今年度から創設したトップアスリートコースのエアロビクスです。



ちょっと一言 中学生くらいになると、人は「自分の中の自分」と対話をし始める。自分の中にもう一人の自分を見つける。自分の中の他者をもつことによって、自分の行為を見つめることができる。誰もが自分の嫌なところをもっている。しかし、その自分と折り合いをつけて、やっている。その過程で良心が生まれてくる。嫌なところばかりが気になりだすと、それが自己嫌悪に繋がりがり、さらに他者に対する憎しみや否定的な感情となって現れる。ネット上でひどい書き込みをする。普通はもう一人の自分が止める。自己否定や自己嫌悪があると、それを人に向けてしまう。結果自分を傷つけている。